

除雪機、農業機械製造、鋼材加工販売のフジイコーポレーション（本社・燕市、社長・藤井大介氏）は2019（平成31）年度文部科学省の創意工夫功労者賞を受賞した。毎年同賞へ挑戦しており、今回の受賞テーマは「塗装立体ハンガーとキャリアの製作による工程改善」。生産技術の古沢昭雄氏、機械事業部製造部五十嵐一雄氏が受賞した。除雪機、農業機械の粉体塗装工程での効率化を図ったことが理由。

塗装を施す各部品を用いていたハンガー（吊

フジイコーポレーション

「創意工夫功労者賞」受賞

文科省から塗装工程の改善で



古沢氏と五十嵐氏

り具）をこれまで平面的なものから立体的なものに変更した。吊るせるワイヤのハンガーをラインに加え、最終仕上げする間削減するかを突き詰めた。現場スタッフの意見を取って効率化した。

用される洗濯物干し。ワイヤによって重さのバランスを前後左右に変更できる吊り具、真ん中で折りたたみの機構を付けるなどの工夫を施した。ハンガー自体の平衡を保つ蝶番のような部



ハンガーにつるした例

品も開発した。開発にあたっては工場に使い勝手の良さを追求している。キャスタの足回り（車輪）は位

置決めがしやすいようにハンドルの高さ、角度と語った。

安全や環境に配慮しながら、今後も品質向上や効率化に挑戦し続ける。

塗装ラインは除雪機、農業機械1機種ごと流れる。足回り、エンジンまわり等大、中、小の部品が並ぶ。それを色ごとに（白、赤、黒、エコ：茶の4色）に回

直線移動に変更できる方を試行錯誤し適度な範囲を採った。ハンガーをラインのフックにすくい上げるという古沢氏、架けるためのキャリアも徹底的に改良した。受賞は最高になる。

今回の受賞者で最高齢の古沢氏、白、赤、黒が混ざったエコーというオリジナル配色



工夫を凝らしたキャリア

五十嵐氏は「これで受賞できると思うが、非常に光栄で嬉しい。改良を続けていきたい」と語る。

同社の塗装工程は環境に配慮し、廃液はステンレス製の排水路を床下に設置した。有機溶剤を使わない粉体塗装で作業環境が良好。塗装時に余った塗料はリサイクルし、